



命のバトン

みんなで支え合える地域を目指して
ご理解とご協力をお願いします

急激に進む少子高齢化と地域コミュニティの希薄化が心配される今日、地域における見守り、支え合い、安否確認が大きな課題となっています。こうしたことからみんなで見守り、支え合う安心のまちづくりを目指して「命のバトン」事業を、4月から実施しています。

みなさまのご理解とご協力をお願いします。

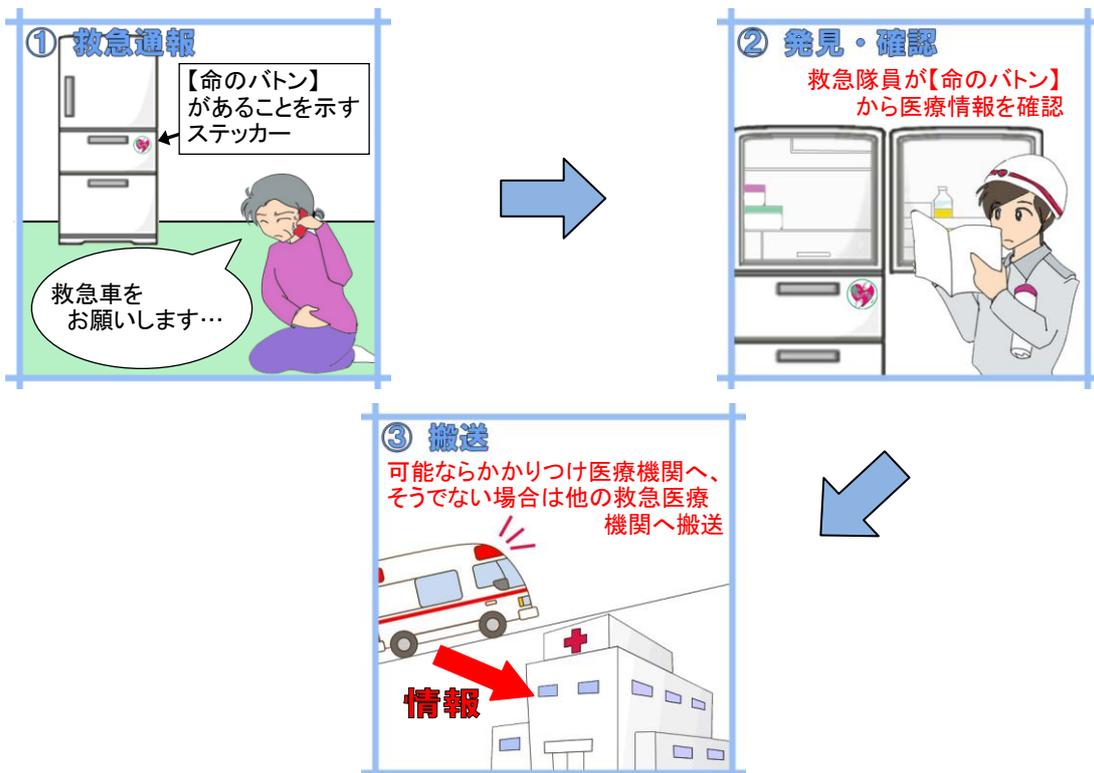
◎「命のバトン」とは？

「命のバトン」(以下「バトン」)とは、緊急時に必要な情報を入れたケースを、冷蔵庫に保管し方が一に備える事業です。一つ目の目的は、一人暮らしの高齢者など要援護者の安心・安全のため、急病など急に助けが必要となったとき、消防署の救急隊員やかけつけた方に持病や、かかりつけの病院・緊急時の連絡先などの情報をいち早く確実に知らせ、命を守ることです。

二つ目の目的は、地域の要援護者に対する地域での見守りや支え合いの機運を高め、「みんなで支え合える地域」を目指した取り組みです。

◎119番通報から搬送まで

- ①急病などの緊急の場合、消防署へ連絡します。
- ②救急隊員は冷蔵庫にある「バトン」を取り出し、緊急時の情報を確認します。
- ③緊急時の情報用紙により、かかりつけの医者へ搬送し、親戚等へ連絡します。



◎どんな人が対象？

この事業は、平成25年4月から開始しています。

最初は、一人暮らし高齢者と特に健康等に不安があり支援が必要な方からスタートし、障がい者や高齢者世帯、また健康に不安がある方も順次、対象とします。

◎申込み

「バトン」を希望される方は、お近くの民生委員さんもしくは、区長さん、または日野町社会福祉協議会事務局に申込書がありますので記入いただき、申込みをお願いします。

◎お願い

ご近所に「バトン」を配置されている方がおられる場合は、普段から「声かけ」や「見守り」など、気にかけるようにしてください。またこの事業により、「地域の支え合いの機運」が高まることを期待しています。



※「バトン」があることを示すステッカー
(玄関ドア内側と冷蔵庫扉に貼りつけます)

◎実際こんな事例がありました

妻が台所で倒れ、意識がもうろうとして動かなくなった。居合わせた長女が119番通報し救急車が到着した。長女と夫がおろおろして見守っていたら、救急隊員の方が冷蔵庫をみて「命のバトンがあるなら出して」と言われ渡した。妻はそのまま救急搬送され、数日後退院。用意していたが、まさか自分の家で使うとは思わなかった。(甲賀市信楽町で実際あった事例)



●「命のバトン」についてお問い合わせ●

お近くの民生委員・児童委員、または日野町社会福祉協議会まで

☎529-1602 滋賀県蒲生郡日野町河原1丁目1番地

(日野町勤労福祉会館内) ☎0748-52-1219 Fax0748-52-2009